

2009年5月21日

ランクセス、木材用の新しい難燃剤を開発

～ 屋根トラスの耐火性能の強化など、建設および家具製造産業で使用する木材を保護 ～

ランクセス株式会社

特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、木材および木材関連製品向けの難燃剤「ディスフラモール(Disflamoll®) TP LXS 51064」を開発しました。有機リン系化合物の難燃剤は、木材など多くの天然製品を燃えにくい素材に変える特性があります。「ディスフラモール TP LXS 51064」は、建築用木材や合板、その他の住宅部材や家具部材などに使用できます。

「ディスフラモール TP LXS 51064」は水溶性で、圧力注入、薬浴、吹付け塗装、はけ塗りなど、異なる用途加工を施した素材表面に影響を与えません。また非揮発性の製品で、ハロゲン、重金属、ホウ素を含有せず、EU法に基づく表示は特に必要ありません。

通常、木材は一般的なプラスチックに比べ独特な質感がありますが、厳しい防火基準への準拠が必要な建設分野や自動車分野では、従来、用途が限られていました。木材や木材製品の可燃性を抑えるための添加剤は製品群が少なく、分散性が劣るなど使用上の欠点も指摘され、プラスチック向け難燃剤ほど普及していません。

ランクセスの機能性化学品製品群では、木材の透明塗装に最適な難燃剤や添加剤を取り揃えています。ランクセスのリン系難燃剤「ディスフラモール」と「レバガード(Levagard®)」は、耐火塗料向けのみで使用される製品や不透明塗装の難燃剤とは異なり無色透明で、素材の外観を損なうことはありません。バインダーや添加剤を加える際に、優れた親和性および溶解性を発揮します。「ディスフラモール」と「レバガード」の製品群は難燃性に加え、ハロゲンフリーおよび揮発性有機化合物フリーで、無色、低粘性な形成が可能です。ランクセスのリン系化合物は、可塑剤、粘度低減剤、溶媒(代用溶媒)、腐食防止剤、表面処理剤、分散剤、湿潤剤、消泡剤としても使用されます。

機能性化学品ビジネスユニットは、パフォーマンスケミカルズ部門(2008年度売上高:19億3,000万ユーロ)に属しています。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで4月30日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00069J)